

横手高等学校（全日制課程）中期ビジョン（五か年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

(1)「本校が目指す姿」

① 学校の現状や課題

本校は明治31（1898）年の創立以来、県内はもとより国内外を問わず、様々な分野で社会に貢献する人材を輩出している。毎年、ほぼ100%の生徒が大学進学を目指し、東大、京大、東北大等の難関大学をはじめ、医学部医学科への現役合格といった高い実績を残している。

その一方で、少子高齢化が進む地域社会の中では社会的な刺激が乏しく、幅広い視点をもって社会全体を見渡し、自らが主体的な構成員として社会に参画していく立場であるとの自覚を育むことが難しい。このため、幅広い将来ビジョンを描けないうまま、既存の狭い範囲の中で進路選択をすることで満足している生徒がまだまだ大勢である点が、本校の課題である。

このような中、平成30年度から文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、「エビデンスを基に議論を積み重ね、国際社会で活躍するグローバルサイエンスリーダーの育成」を研究テーマとして、課題研究や国際交流に力を入れているところである。

また、令和2年度から校舎改築が進められており、4年度に校舎が完成し、10年度末までに体育館等の施設が完成する予定である。最新の学習環境のもとで、より一層充実した教育活動を行うことが求められている。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

横手地区の中学校卒業者は今後10年間で7割程度に減少することが予想されている。第七次秋田県高等学校総合整備計画によると、横手地区の複数校の統合・再編が進められることになっており、中学校卒業者が減少する中でも、適正な学校規模を保ちながら教育環境を維持していく計画である。

③ スクール・ポリシー

(i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

本校は、「知・徳・体」の調和のとれた人格の完成を目指すとともに、「剛健質朴」の校風のもと、「青雲の志」を抱き、「天佑自助」の精神で、県内はもとより国内外を問わず、将来にわたり社会の幸福と発展に貢献する有為な人材の育成を目指す。

したがって、本校で育成する資質・能力は次のとおりである。

- 1 志を高く掲げ、高いレベルの知識・技能を培い、主体的に学びを深めることで思考力や表現力等を備えた確かな学力を身に付け、自己実現を図る。
- 2 自ら課題を発見、探究し、他者と協働して問題解決に取り組み、リーダーシップを発揮して、地域はもちろん世界を舞台に活躍するとともに、よりよい社会や知の創造に貢献する。

- 3 剛健にして質素純朴な心と身体、高い倫理観や公共の精神を備え、多様な価値観や文化を尊重する態度、失敗を恐れず挑戦する強靱な精神力をもつなど、心豊かにたくましく生きる。

(ii)カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

本校は、すべての教育活動において「チャレンジ精神」の育成を念頭に置き、進路実現に向けた確かな学力、主体的に自己と社会の未来を切り拓く人材、豊かな心やたくましい心身の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

そのために、本校で推進する教育活動は次のとおりである。

- 1 1年次に履修する共通科目において基礎基本となる知識・技能の習得を図るとともに、知的好奇心と探究に向かう姿勢を養う。2・3年次では、より自己を高めようとする態度を身に付け、普通科（文型・理型）および理数科に分かれ、生徒一人一人の能力や適性に応じた深い学びを推進する。
- 2 SSHや総合的な探究の時間において、課題研究や高大連携事業等を通して統計学とデータサイエンスを学ぶ探究活動を推進するとともに、グローバルな視点から国内外の諸問題に対して主体的に課題を発見し、解決に取り組むことができるよう、海外研修や留学生との交流プログラム等の国際交流活動を展開する。
- 3 学校行事や部活動、ボランティア活動等への参加により、文武両道や自主自立の精神に富む豊かな人間性、多様な価値観を認める人間尊重の精神や公共の精神を涵養するとともに、様々な困難を克服する心身ともにたくましい生徒を育む体験活動の充実を図る。

(iii)アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校では、高い志をもって日々の学習及び諸活動にひたむきに取り組むことで自己を向上させ、将来、希望ある未来社会を創る人間の育成を目指す。

したがって、本校で求める生徒は次のとおりである。

- 1 高度科学技術社会を牽引していこうとする高い志と、その基盤となる学力をもっている。
- 2 解決困難な課題にも主体的・積極的に挑戦し、多様な人々と協働しながら答えを見出していくことができる。
- 3 部活動等の様々な活動に意欲的に取り組み、自己を律し、心と体を鍛えていこうとする。

(2)「5年間を通しての具体的な目標と取組」

① 5年間を通しての具体的目標

- ア 進路実現に向けた確かな学力の育成 ～青雲の志・天佑自助～**
- イ 心豊かでたくましい心身の育成 ～剛健質朴・文武両道～**
- ウ 課題研究活動を通じた主体的な態度の育成**
- エ 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成**
- オ 人間尊重の精神及び公共の精神の涵養と規律ある生活習慣の確立**

② 目標を達成するための具体的な方法、取組等

ア 進路実現に向けた確かな学力の育成 ～青雲の志・天佑自助～

生徒一人一人の能力・適性に応じた学習指導や進路指導を通じて、各生徒がそれぞれの進路実現ができるよう、自ら学び、探究し、解決しようとする姿勢や能力を備えた確かな学力の育成を目指し、自己の可能性に挑む高い志を育成する。

イ 心豊かでたくましい心身の育成 ～剛健質朴・文武両道～

部活動や学校行事等への積極的な参加による文武両道の実現を通じて、剛健にして質素純朴な心と身体、仲間を思い支え合う心など強い精神力と協調性、自主自立の精神に富む、心豊かな人間性を育む。

ウ 課題研究活動を通じた主体的な態度の育成

S S Hの活動や自助（総合的な探究の時間）を活用し、課題設定から課題の探究活動によって、主体的に問題や課題を見出し、その原因や理由を探り解決あるいは克服の手段や方法を研究する姿勢を育てる。

エ 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成

I C Tを利用した国外の高校生との交流や海外研修旅行を通して、グローバルな情報を活用して物事を考える力、文化の違いを理解し価値観の異なる他者との交流で国際社会を生きる開かれた心など、国際性の育成を図る。

オ 人間尊重の精神及び公共の精神の涵養と規律ある生活習慣の確立

学校生活のあらゆる場面を通して、生命や人権の大切さを教え、倫理観や規範意識を涵養し、多様な価値観を認める人間尊重の精神、社会の一員として求められる公共の精神の育成を図る。

令和3年5月策定

令和5年5月一部改訂

令和7年4月一部改訂